

令和5年度 大気汚染常時監視測定結果

堺市環境局環境保全部

目次

1. 測定局及び測定項目	1
2. 二酸化窒素、一酸化窒素及び窒素酸化物	2
2. 1 二酸化窒素に係る環境基準との比較	2
2. 2 二酸化窒素の推移（一般環境大気測定局）	3
2. 3 二酸化窒素の推移（自動車排出ガス測定局）	4
2. 4 一酸化窒素及び窒素酸化物の推移（一般環境大気測定局）	5
2. 5 一酸化窒素及び窒素酸化物の推移（自動車排出ガス測定局）	6
3. 浮遊粒子状物質	7
3. 1 浮遊粒子状物質に係る環境基準との比較	7
3. 2 浮遊粒子状物質の推移（一般環境大気測定局）	8
3. 3 浮遊粒子状物質の推移（自動車排出ガス測定局）	9
4. 微小粒子状物質	10
4. 1 微小粒子状物質に係る環境基準との比較	10
4. 2 微小粒子状物質の推移	10
5. 二酸化硫黄	11
5. 1 二酸化硫黄に係る環境基準との比較	11
5. 2 二酸化硫黄の推移	11
6. 光化学オキシダント	12
6. 1 光化学オキシダントに係る環境基準との比較	12
6. 2 光化学オキシダントの推移	12
7. 非メタン炭化水素	13
7. 1 光化学オキシダントの生成防止のための指針値との比較	13
7. 2 非メタン炭化水素の推移	13
8. 一酸化炭素	14
8. 1 一酸化炭素に係る環境基準との比較	14
8. 2 一酸化炭素の推移	14
9. 風向・風速	15
9. 1 風向・風速の測定結果	15
10. 日射量・放射収支量	16
10. 1 日射量・放射収支量の測定結果	16
11. 阪神高速道路大和川線周辺の測定結果	16

1. 測定局及び測定項目

表 1 - 1 令和5年度 測定局及び測定項目一覧表

測定局	所在地	測定項目															
		二酸化窒素	一酸化窒素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	二酸化硫黄	非メタン炭化水素	一酸化炭素	微小粒子状物質	風向・風速	日射量	放射収支量	吸引口高さ(m)	風向風速計高さ(m)			
一般環境 大気測定局	三宝局	堺区三宝町5-286	独立局舎	三宝小学校	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	4	6
	少林寺局	堺区少林寺町東4-1-1		少林寺小学校	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	14	18
	石津局	西区浜寺石津町中2-3-28		浜寺石津小学校	○	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	15	18
	浜寺局	西区浜寺船尾町西5-60		浜寺中学校	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	15	18
	金岡南局	北区金岡町1182-1	独立局舎	金岡南小学校	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	4	6
	深井局	中区深井水池町3214		東深井小学校	○	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	15	19
	登美丘局	東区大美野135		登美丘西小学校	○	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	15	18
	若松台局	南区若松台3-34-1		若松台中学校	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	15	18
	美原局	美原区小平尾390	独立局舎	美原中学校	○	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	3	10
自動車 排出ガス 測定局	市役所局	堺区南瓦町3-1	独立局舎		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	湾岸局	西区石津西町24-4	独立局舎		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
	常磐浜寺局	北区新金岡町4-1-9	独立局舎	新金岡東小学校	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	阪和深井畑山局	中区深井東町2661-3	独立局舎		○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	7	8
	美原丹上局	美原区丹上329-1	独立局舎		○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	5	10
	中環石原局	東区石原町1-102	独立局舎	クリーンセンター東工場内	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	3	6
気象 観測局	大仙公園局	堺区百舌鳥夕雲町2-204		大仙公園内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	

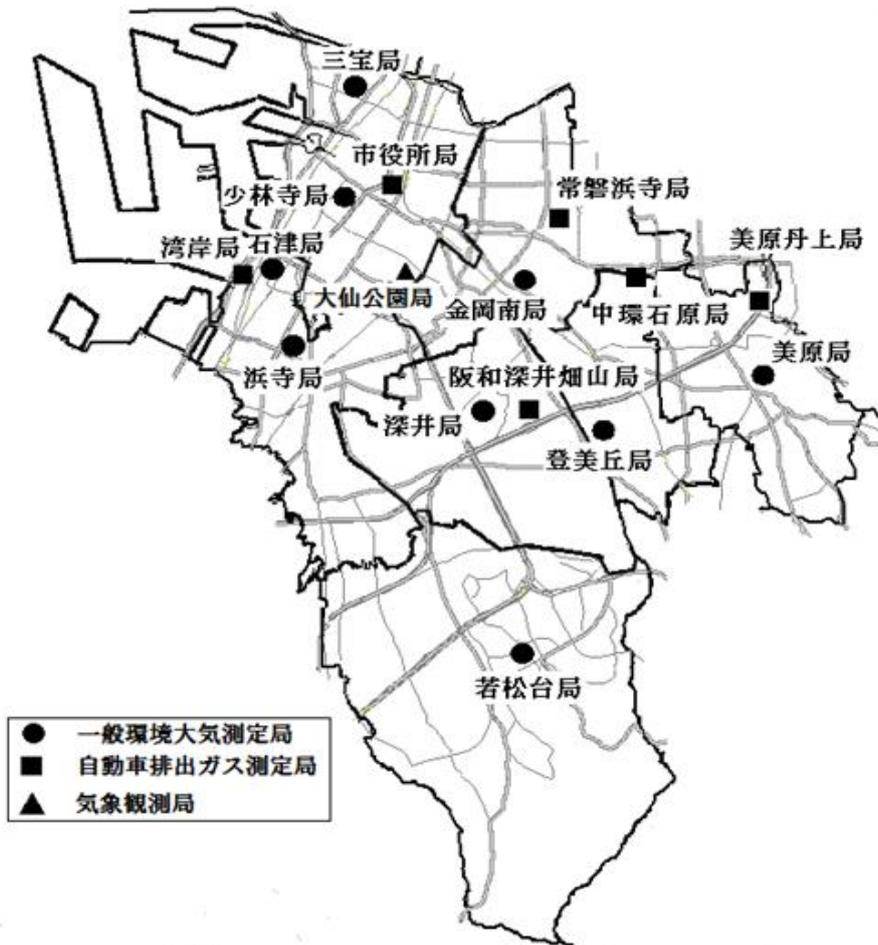


図 1 - 1 令和5年度 測定局地点図

2. 二酸化窒素、一酸化窒素及び窒素酸化物

2. 1 二酸化窒素に係る環境基準との比較

表2-1 令和5年度 二酸化窒素 測定結果及び環境基準の適否

(令和5年4月～令和6年3月)

測定局	有効測定日数	年平均値	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値の年間98%値	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数 ^{注1)}	環境基準の適否 ^{注2)}	
			日	%	日	%				ppm
一般環境 大気 測定局	三 宝	366	0.015	2	0.5	0	0.0	0.031	0	○
	少 林 寺	366	0.013	1	0.3	0	0.0	0.028	0	○
	石 津	366	0.014	1	0.3	0	0.0	0.030	0	○
	浜 寺	366	0.012	1	0.3	0	0.0	0.028	0	○
	金 岡 南	332	0.011	0	0.0	0	0.0	0.025	0	○
	深 井	366	0.011	0	0.0	0	0.0	0.024	0	○
	登 美 丘	366	0.009	0	0.0	0	0.0	0.021	0	○
	若 松 台	366	0.006	0	0.0	0	0.0	0.014	0	○
美 原	366	0.010	0	0.0	0	0.0	0.021	0	○	
自動車 排出局	市 役 所	365	0.015	0	0.0	0	0.0	0.028	0	○
	湾 岸	330	0.018	2	0.6	0	0.0	0.032	0	○
	常 磐 浜 寺	366	0.014	0	0.0	0	0.0	0.028	0	○
	阪和深井畑山	365	0.013	0	0.0	0	0.0	0.027	0	○
	美 原 丹 上	366	0.014	0	0.0	0	0.0	0.028	0	○
	中 環 石 原	364	0.017	1	0.3	0	0.0	0.032	0	○

注)1. 「98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数」とは、1年間の日平均値のうち低い方から98%の範囲にあって、かつ、0.06ppmを超えた日数である。

2. 「環境基準適否」の適合は、98%値評価による日平均値0.06ppmを超えた日数が0であること。

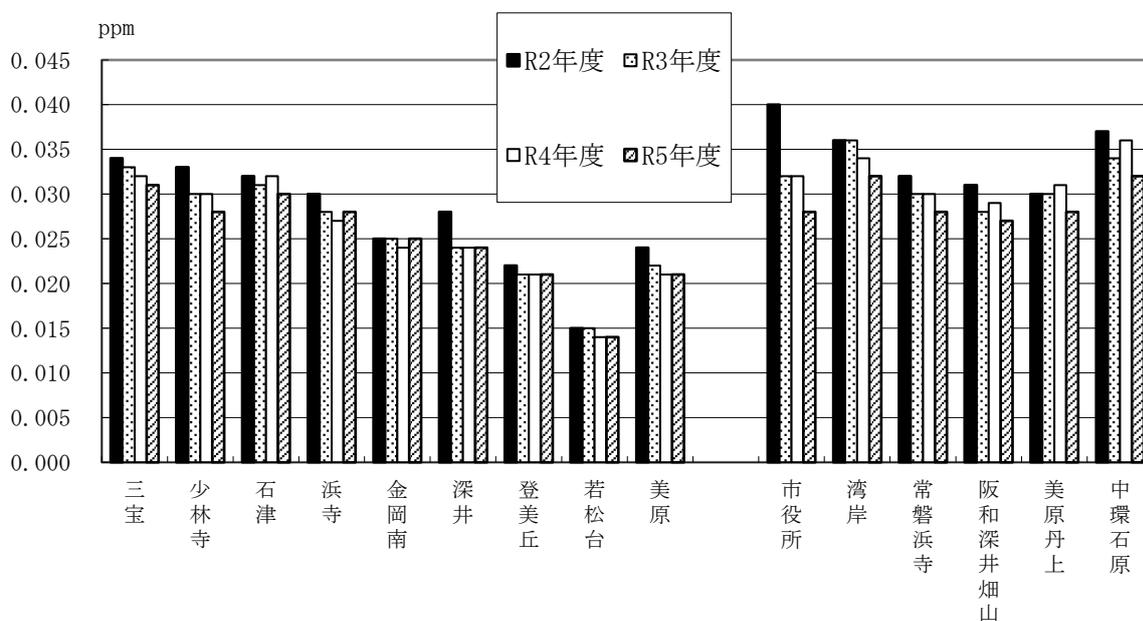


図2-1 二酸化窒素 日平均値の年間98%値

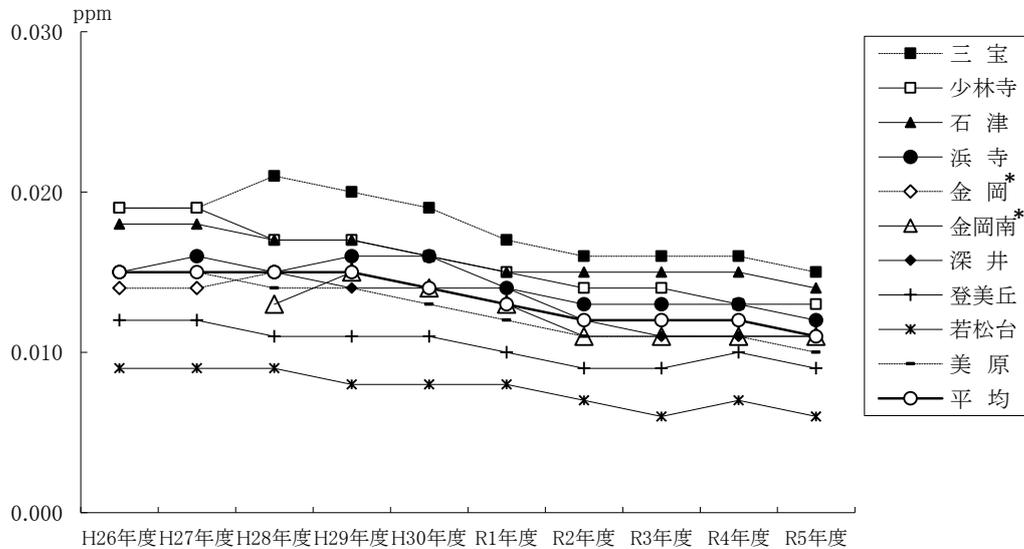
2. 2 二酸化窒素の推移（一般環境大気測定局）

表2-2 二酸化窒素 年平均値の推移（一般環境大気測定局）

(単位：ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三宝	0.019	0.019	0.021	0.020	0.019	0.017	0.016	0.016	0.016	0.015
少林寺	0.019	0.019	0.017	0.017	0.016	0.015	0.014	0.014	0.013	0.013
石津	0.018	0.018	0.017	0.017	0.016	0.015	0.015	0.015	0.015	0.014
浜寺	0.015	0.016	0.015	0.016	0.016	0.014	0.013	0.013	0.013	0.012
金岡*	0.014	0.014	(0.015)	—	—	—	—	—	—	—
金岡南*	—	—	(0.013)	0.015	0.014	0.013	0.011	0.011	0.011	0.011
深井	0.015	0.015	0.014	0.014	0.014	0.012	0.011	0.011	0.011	0.011
登美丘	0.012	0.012	0.011	0.011	0.011	0.010	0.009	0.009	0.010	0.009
若松台	0.009	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008	0.007	0.006	0.007	0.006
美原	0.015	0.015	0.014	0.014	0.013	0.012	0.011	0.011	0.011	0.010
平均	0.015	0.015	0.015	0.015	0.014	0.013	0.012	0.012	0.012	0.011

注) 1. () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
 2. *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。



注) *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

図2-2 二酸化窒素 年平均値の推移（一般環境大気測定局）

表2-3 二酸化窒素 日平均値の年間98%値の推移（一般環境大気測定局）

(単位：ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三宝	0.037	0.038	0.038	0.037	0.035	0.036	0.034	0.033	0.032	0.031
少林寺	0.041	0.036	0.034	0.035	0.033	0.034	0.033	0.030	0.030	0.028
石津	0.035	0.032	0.032	0.034	0.032	0.031	0.032	0.031	0.032	0.030
浜寺	0.032	0.030	0.031	0.035	0.032	0.031	0.030	0.028	0.027	0.028
金岡*	0.030	0.029	(0.023)	—	—	—	—	—	—	—
金岡南*	—	—	(0.030)	0.031	0.028	0.029	0.025	0.025	0.024	0.025
深井	0.032	0.030	0.029	0.031	0.028	0.030	0.028	0.024	0.024	0.024
登美丘	0.026	0.024	0.024	0.026	0.023	0.025	0.022	0.021	0.021	0.021
若松台	0.021	0.019	0.019	0.020	0.016	0.019	0.015	0.015	0.014	0.014
美原	0.029	0.027	0.025	0.028	0.027	0.026	0.024	0.022	0.021	0.021

注) 1. () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
 2. *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

2. 3 二酸化窒素の推移（自動車排出ガス測定局）

表2-4 二酸化窒素 年平均値の推移（自動車排出ガス測定局）

		(単位：ppm)									
測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
市役所	0.022	0.023	0.021	0.022	0.020	0.019	(0.021)	0.017	0.017	0.015	
湾岸	0.025	0.025	0.025	0.024	0.023	0.021	0.020	0.019	0.019	0.018	
常磐浜寺	0.019	0.018	0.017	0.018	0.018	0.017	0.016	0.015	0.015	0.014	
阪和深井畑山	0.019	0.019	0.018	0.018	0.018	0.016	0.015	0.014	0.014	0.013	
美原丹上	0.022	0.022	0.021	0.020	0.019	0.018	0.016	0.016	0.016	0.014	
中環石原	0.027	0.027	0.026	0.024	0.024	0.022	0.019	0.019	0.019	0.017	
平均	0.022	0.022	0.021	0.021	0.020	0.019	0.017	0.017	0.017	0.015	

注) () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。

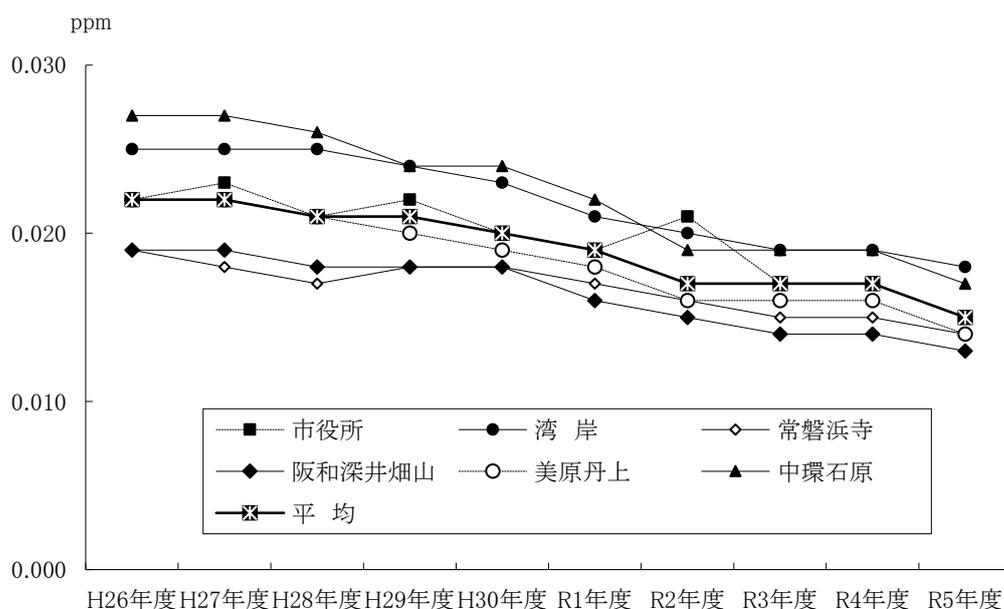


図2-3 二酸化窒素 年平均値の推移（自動車排出ガス測定局）

表2-5 二酸化窒素 日平均値の年間98%値の推移（自動車排出ガス測定局）

		(単位：ppm)									
測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
市役所	0.041	0.040	0.037	0.037	0.034	0.035	(0.040)	0.032	0.032	0.028	
湾岸	0.041	0.041	0.039	0.043	0.039	0.038	0.036	0.036	0.034	0.032	
常磐浜寺	0.036	0.034	0.033	0.036	0.034	0.034	0.032	0.030	0.030	0.028	
阪和深井畑山	0.036	0.034	0.034	0.036	0.033	0.033	0.031	0.028	0.029	0.027	
美原丹上	0.039	0.036	0.035	0.037	0.034	0.033	0.030	0.030	0.031	0.028	
中環石原	0.045	0.043	0.042	0.041	0.040	0.040	0.037	0.034	0.036	0.032	

注) () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。

2. 4 一酸化窒素及び窒素酸化物の推移（一般環境大気測定局）

表 2-7 一酸化窒素 年平均値の推移（一般環境大気測定局）

(単位：ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三 宝	0.006	0.005	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003
少 林 寺	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002
石 津	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
浜 寺	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002
金 岡*	0.002	0.002	(0.001)	—	—	—	—	—	—	—
金 岡 南*	—	—	(0.003)	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
深 井	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
登 美 丘	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
若 松 台	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000
美 原	0.003	0.003	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
平 均	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002

注) 1. () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
 2. *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

表 2-8 窒素酸化物 年平均値の推移（一般環境大気測定局）

(単位：ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三 宝	0.025	0.025	0.026	0.025	0.023	0.022	0.020	0.020	0.019	0.018
少 林 寺	0.023	0.023	0.021	0.021	0.020	0.019	0.017	0.016	0.016	0.015
石 津	0.022	0.022	0.021	0.020	0.019	0.018	0.018	0.017	0.018	0.017
浜 寺	0.018	0.019	0.018	0.019	0.019	0.017	0.015	0.015	0.015	0.014
金 岡*	0.016	0.017	(0.014)	—	—	—	—	—	—	—
金 岡 南*	—	—	(0.019)	0.017	0.016	0.015	0.013	0.013	0.013	0.013
深 井	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016	0.014	0.012	0.012	0.012	0.012
登 美 丘	0.013	0.014	0.012	0.012	0.012	0.011	0.010	0.010	0.011	0.011
若 松 台	0.010	0.010	0.009	0.009	0.009	0.008	0.007	0.007	0.007	0.007
美 原	0.018	0.017	0.016	0.016	0.016	0.014	0.013	0.013	0.012	0.012
平 均	0.018	0.018	0.018	0.017	0.017	0.015	0.014	0.014	0.014	0.013

注) 1. () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
 2. *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

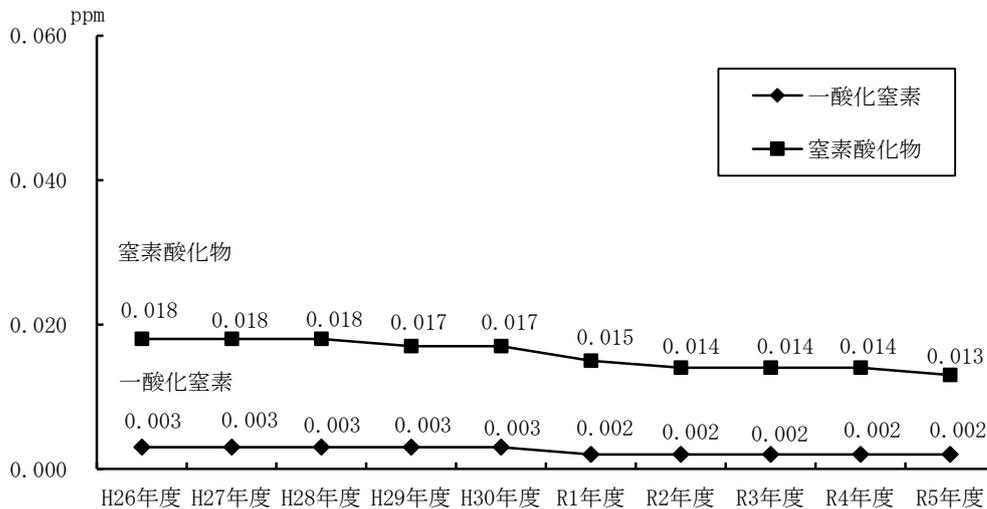


図 2-4 一酸化窒素及び窒素酸化物 年平均値の推移（一般環境大気測定局平均値）

2. 5 一酸化窒素及び窒素酸化物の推移（自動車排出ガス測定局）

表2-9 一酸化窒素 年平均値の推移（自動車排出ガス測定局）

(単位：ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市役所	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.007	(0.006)	0.004	0.004	0.004
湾岸	0.008	0.008	0.009	0.009	0.008	0.008	0.006	0.005	0.005	0.005
常磐浜寺	0.005	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002
阪和深井畑山	0.008	0.009	0.008	0.008	0.007	0.006	0.005	0.005	0.004	0.004
美原丹上	0.013	0.013	0.012	0.011	0.010	0.010	0.008	0.007	0.008	0.008
中環石原	0.027	0.026	0.025	0.020	0.021	0.018	0.014	0.013	0.013	0.013
平均	0.011	0.011	0.011	0.010	0.009	0.009	0.007	0.006	0.006	0.006

注) () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。

表2-10 窒素酸化物 年平均値の推移（自動車排出ガス測定局）

(単位：ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
市役所	0.028	0.030	0.027	0.028	0.026	0.026	(0.027)	0.021	0.02	0.019
湾岸	0.033	0.033	0.034	0.033	0.031	0.029	0.026	0.024	0.024	0.023
常磐浜寺	0.023	0.022	0.021	0.022	0.022	0.020	0.019	0.017	0.017	0.017
阪和深井畑山	0.027	0.028	0.027	0.026	0.025	0.022	0.020	0.019	0.018	0.017
美原丹上	0.035	0.035	0.032	0.032	0.030	0.028	0.024	0.023	0.023	0.022
中環石原	0.055	0.052	0.051	0.044	0.044	0.040	0.033	0.032	0.032	0.030
平均	0.034	0.033	0.032	0.031	0.030	0.028	0.024	0.023	0.022	0.021

注) () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。

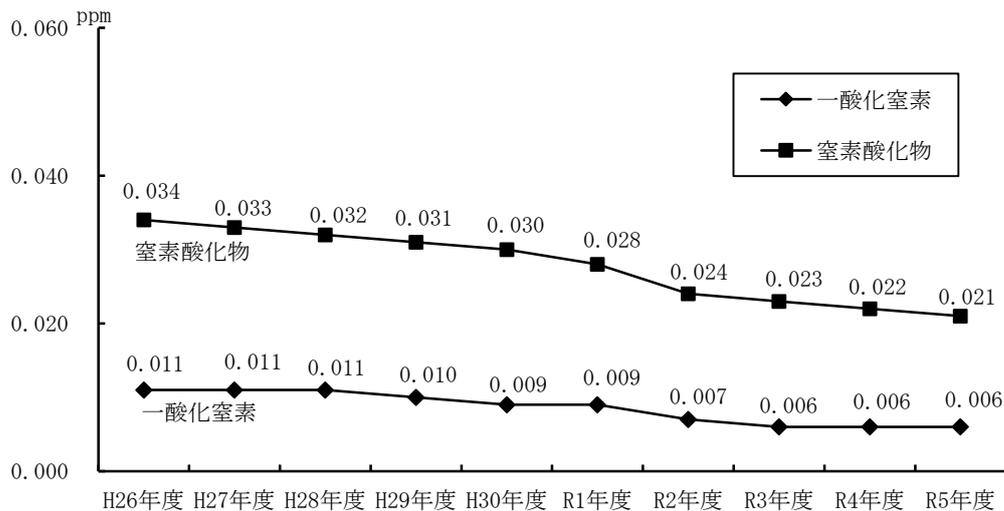


図2-5 一酸化窒素及び窒素酸化物 年平均値の推移（自動車排出ガス測定局平均値）

3. 浮遊粒子状物質

3. 1 浮遊粒子状物質に係る環境基準との比較

表3-1 令和5年度 浮遊粒子状物質 測定結果及び環境基準の適否

(令和5年4月～令和6年3月)

測定局	有効測定日数	年平均値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	長期的評価による日平均値0.10mg/m ³ を超えた日数 ^{注)1}	長期的評価による環境基準の適否 ^{注)2}	
			日	mg/m ³	時間	%					日
一般環境 測定局	三 宝	364	0.017	0	0.0	0	0.0	0.038	無	0	○
	少 林	364	0.015	0	0.0	0	0.0	0.034	無	0	○
	石 津	364	0.015	0	0.0	0	0.0	0.033	無	0	○
	浜 寺	364	0.016	0	0.0	0	0.0	0.036	無	0	○
	大 岡	364	0.015	0	0.0	0	0.0	0.036	無	0	○
	気 深	364	0.014	0	0.0	0	0.0	0.033	無	0	○
	測 登	364	0.015	0	0.0	0	0.0	0.031	無	0	○
	定 若	364	0.014	0	0.0	0	0.0	0.028	無	0	○
局 美	364	0.016	0	0.0	0	0.0	0.034	無	0	○	
自 動 車 測 定 局	市 役 所	363	0.015	0	0.0	0	0.0	0.034	無	0	○
	湾 岸	363	0.017	0	0.0	0	0.0	0.039	無	0	○
	常 磐 浜 寺	364	0.016	0	0.0	0	0.0	0.036	無	0	○
	阪和深井畑山	364	0.015	0	0.0	0	0.0	0.033	無	0	○
	美 原 丹 上	360	0.015	0	0.0	0	0.0	0.033	無	0	○
	出 中 環 石 原	364	0.016	0	0.0	0	0.0	0.037	無	0	○

注)1. 「長期的評価による日平均値0.10mg/m³を超えた日数」とは、日平均値の高い方から2%範囲の日平均値を除外した後の日平均値のうち0.10mg/m³を超えた日数である。ただし、高い方から2%範囲の中に0.10mg/m³を超えた日が2日以上連続した場合、この日数は除外せず超えた日数に加える。

2. 「長期的評価による環境基準適否」の適合は、長期的評価による日平均値0.10mg/m³を超えた日数が0であること。

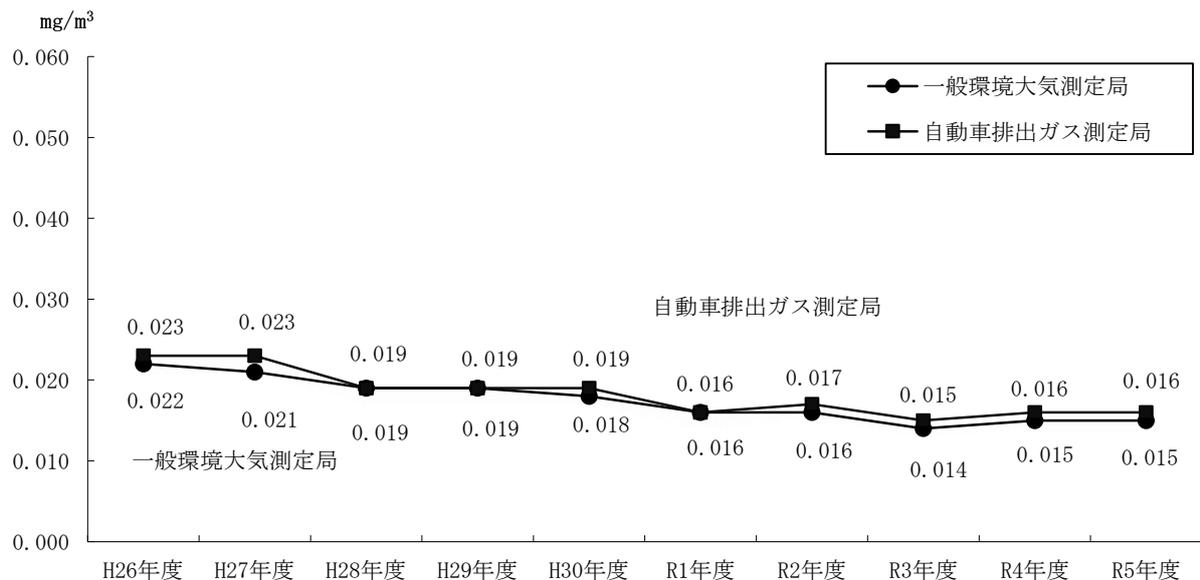


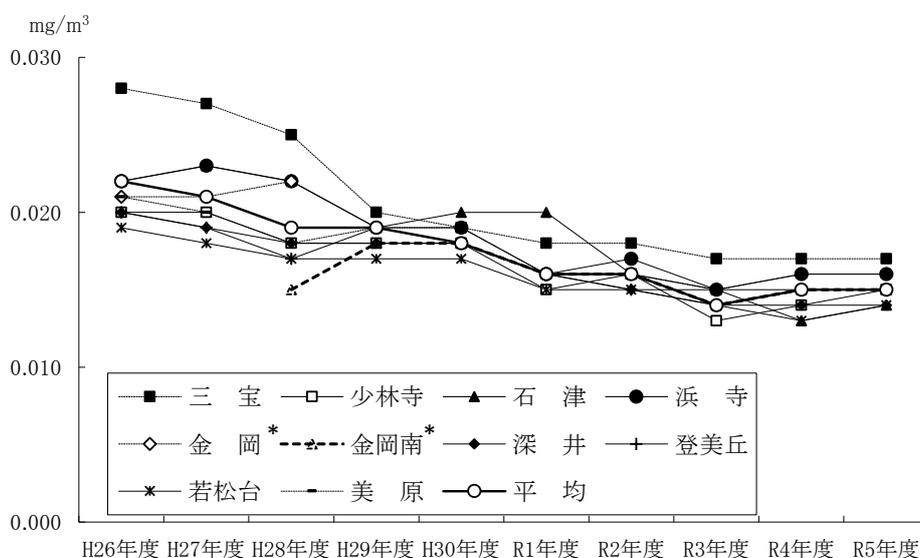
図3-1 浮遊粒子状物質 年平均値の推移 (市内平均値)

3. 2 浮遊粒子状物質の推移（一般環境大気測定局）

表3-2 浮遊粒子状物質 年平均値の推移（一般環境大気測定局）

		(単位: mg/m ³)									
測定局		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三	宝	0.028	0.027	0.025	0.020	0.019	0.018	0.018	0.017	0.017	0.017
少	林寺	0.020	0.020	0.018	0.018	0.018	0.015	0.016	0.013	0.014	0.015
石	津	0.023	0.022	0.019	0.020	0.020	0.016	0.015	0.013	0.014	0.015
浜	寺	0.022	0.023	0.022	0.019	0.019	0.016	0.017	0.015	0.016	0.016
金	岡*	0.021	0.021	(0.022)	—	—	—	—	—	—	—
金	岡南*	—	—	(0.015)	0.018	0.018	0.016	0.016	0.014	0.015	0.015
深	井	0.020	0.019	0.018	0.018	0.018	0.016	0.015	0.014	0.014	0.014
登	美丘	0.020	0.019	0.017	0.019	0.018	0.016	0.015	0.015	0.015	0.015
若	松台	0.019	0.018	0.017	0.017	0.017	0.015	0.015	0.014	0.013	0.014
美	原	0.021	0.020	0.018	0.019	0.019	0.016	0.016	0.015	0.016	0.016
平均		0.022	0.021	0.019	0.019	0.018	0.016	0.016	0.014	0.015	0.015

注) 1. () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
2. *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。



注) *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

図3-2 浮遊粒子状物質 年平均値の推移（一般環境大気測定局）

表3-3 浮遊粒子状物質 日平均値の2%除外値の推移（一般環境大気測定局）

		(単位: mg/m ³)									
測定局		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三	宝	0.061	0.055	0.046	0.044	0.043	0.040	0.043	0.033	0.033	0.038
少	林寺	0.048	0.049	0.037	0.044	0.046	0.036	0.042	0.031	0.029	0.034
石	津	0.055	0.053	0.040	0.047	0.049	0.037	0.037	0.031	0.028	0.033
浜	寺	0.046	0.048	0.040	0.040	0.042	0.037	0.040	0.032	0.030	0.036
金	岡*	0.047	0.053	(0.043)	—	—	—	—	—	—	—
金	岡南*	—	—	(0.033)	0.039	0.045	0.036	0.039	0.030	0.029	0.036
深	井	0.048	0.047	0.036	0.040	0.040	0.037	0.038	0.029	0.027	0.033
登	美丘	0.049	0.047	0.035	0.040	0.041	0.037	0.038	0.030	0.028	0.031
若	松台	0.046	0.046	0.037	0.037	0.046	0.035	0.037	0.027	0.025	0.028
美	原	0.048	0.052	0.040	0.039	0.044	0.034	0.038	0.032	0.030	0.034

注) 1. () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
2. *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

3. 3 浮遊粒子状物質の推移（自動車排出ガス測定局）

表3-4 浮遊粒子状物質 年平均値の推移（自動車排出ガス測定局）

		(単位：mg/m ³)									
測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
市役所	0.025	0.024	0.019	0.018	0.017	0.016	(0.014)	0.014	0.015	0.015	
湾岸	0.024	0.024	0.019	0.021	0.020	0.017	0.017	0.016	0.017	0.017	
常磐浜寺	0.021	0.021	0.018	0.018	0.019	0.016	0.016	0.015	0.016	0.016	
阪和深井畑山	0.025	0.025	0.018	0.018	0.018	0.016	0.016	0.015	0.014	0.015	
美原丹上	0.022	0.021	0.019	0.019	0.019	0.017	0.017	0.015	0.016	0.015	
中環石原	0.022	0.021	0.019	0.019	0.019	0.016	0.017	0.015	0.016	0.016	
平均	0.023	0.023	0.019	0.019	0.019	0.016	0.017	0.015	0.016	0.016	

注) () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。

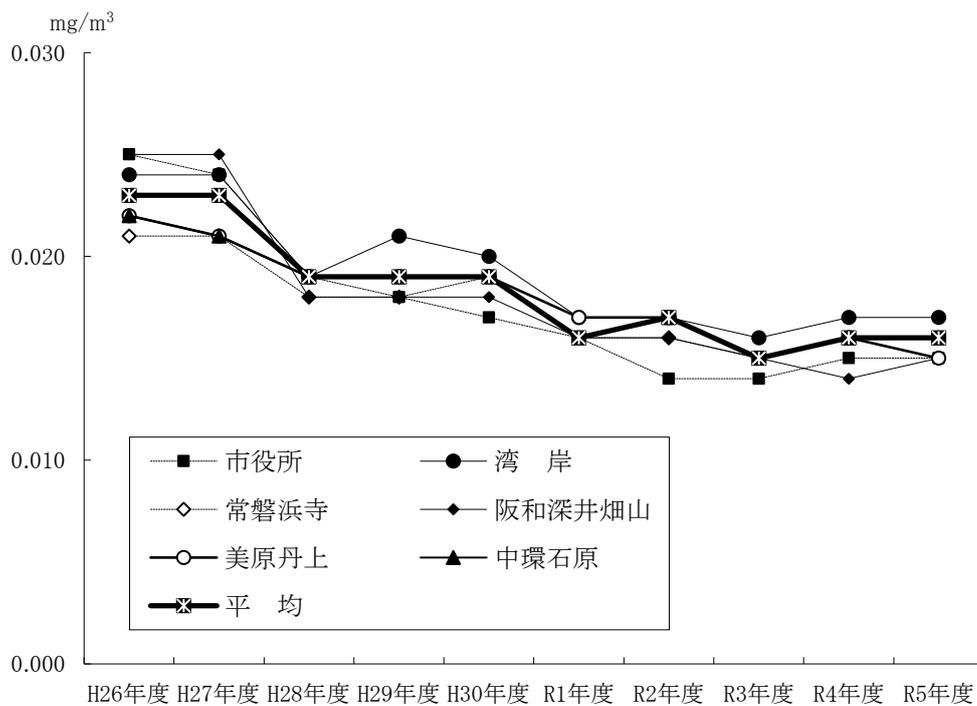


図3-3 浮遊粒子状物質 年平均値の推移（自動車排出ガス測定局）

表3-5 浮遊粒子状物質 日平均値の2%除外値の推移（自動車排出ガス測定局）

		(単位：mg/m ³)									
測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
市役所	0.053	0.051	0.042	0.045	0.037	0.035	(0.034)	0.029	0.029	0.034	
湾岸	0.060	0.063	0.041	0.048	0.051	0.038	0.044	0.035	0.035	0.039	
常磐浜寺	0.048	0.050	0.039	0.042	0.045	0.036	0.041	0.033	0.029	0.036	
阪和深井畑山	0.050	0.052	0.037	0.038	0.043	0.035	0.038	0.031	0.027	0.033	
美原丹上	0.049	0.048	0.038	0.041	0.044	0.038	0.040	0.032	0.029	0.033	
中環石原	0.052	0.051	0.040	0.040	0.043	0.036	0.039	0.029	0.029	0.037	

注) () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。

4. 微小粒子状物質

4. 1 微小粒子状物質に係る環境基準との比較

表4-1 令和5年度 微小粒子状物質 測定結果及び環境基準の適否

(令和5年4月～令和6年3月)

測定局		有効測定日数	年平均値	日平均値の年間98%値	日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		日平均値の最高値	環境基準の適否(適○否×)	
					日	%		長期基準	短期基準
一般環境 大気測定局	三 宝	364	11.0	24.1	0	0.0	27.8	○	○
	浜 寺	358	13.8	28.5	0	0.0	34.7	○	○
	金 岡	355	10.8	22.7	0	0.0	27.3	○	○
	深 井	363	10.2	22.3	0	0.0	24.0	○	○
	若 松	360	9.5	20.9	0	0.0	25.6	○	○
自動車排出 ガス測定局	美 原 丹 上	364	8.6	19.3	0	0.0	21.2	○	○
	中 環 石 原	364	10.3	22.5	0	0.0	24.8	○	○

注)1. 「日平均値の年間98%値」とは、年間にあたる日平均値(有効測定日分)のうち測定値の低い方から98%に相当する値である。

2. 「環境基準の適否(長期基準)」の適合は、年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
 3. 「環境基準の適否(短期基準)」の適合は、日平均値の年間98%値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

4. 2 微小粒子状物質の推移

表4-2 微小粒子状物質 年平均値の推移

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

測定局		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
一般環境 大気測定局	三 宝	17.2	16.6	15.7	16.3	15.0	13.6	13.2	10.8	11.5	11.0
	浜 寺	15.6	14.7	13.4	13.6	(13.5)	11.7	12.2	11.8	13.1	13.8
	金 岡*	13.4	13.1	(13.9)	—	—	—	—	—	—	—
	金 岡 南*	—	—	(10.6)	12.5	11.7	11.1	11.2	9.3	11.1	10.8
	深 井	15.1	14.8	12.7	13.2	13.9	12.0	12.2	10.1	10.0	10.2
	若 松	13.7	13.4	11.7	11.5	11.1	9.8	10.9	9.1	9.9	9.5
	平均	15.0	14.5	13.4	13.4	12.9	11.6	11.9	10.2	11.1	11.1
自動車排出 ガス測定局	美 原 丹 上	16.2	15.6	14.0	13.7	13.1	11.8	11.6	9.0	9.2	8.6
	中 環 石 原	14.1	13.2	11.9	12.3	11.7	10.3	10.2	9.2	10.0	10.3
	平均	15.2	14.4	13.0	13.0	12.4	11.1	10.9	9.1	9.6	9.5

- 注) 1. () は有効測定日が250日未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
 2. * 金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

表4-3 微小粒子状物質 日平均値の年間98%値の推移

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

測定局		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
一般環境 大気測定局	三 宝	40.0	41.2	34.0	37.1	32.6	30.4	30.1	25.2	24.6	24.1
	浜 寺	38.3	37.3	28.7	32.0	(31.8)	26.5	28.7	27.3	26.9	28.5
	金 岡*	33.1	33.7	(28.9)	—	—	—	—	—	—	—
	金 岡 南*	—	—	(25.2)	29.8	27.9	25.5	26.1	23.4	23.4	22.7
	深 井	36.9	39.8	28.8	36.6	38.0	34.5	34.4	24.0	22.4	22.3
	若 松	32.8	35.8	26.5	29.5	29.6	25.3	30.5	21.4	21.5	20.9
自動車排出 ガス測定局	美 原 丹 上	36.0	36.7	29.0	30.1	29.0	26.9	25.7	20.7	19.4	19.3
	中 環 石 原	35.5	33.7	27.9	28.5	26.8	24.7	26.3	23.0	22.2	22.5

- 注) 1. () は有効測定日が250日未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
 2. * 金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

5. 二酸化硫黄

5. 1 二酸化硫黄に係る環境基準との比較

表5-1 令和5年度 二酸化硫黄 測定結果及び環境基準の適否

(令和5年4月～令和6年3月)

測定局	有効測定日数	年平均値	1時間値が0.10ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	長期的評価による日平均値0.04ppmを超えた日数 ^{注1}	長期的評価による環境基準の適否 ^{注2}
			時間	%	日	%				
三宝	366	0.002	0	0.0	0	0.0	0.003	無	0	○
少林寺	366	0.001	0	0.0	0	0.0	0.004	無	0	○
石津	366	0.002	0	0.0	0	0.0	0.003	無	0	○
浜寺	366	0.001	0	0.0	0	0.0	0.003	無	0	○
金岡南	366	0.001	1	0.0	0	0.0	0.003	無	0	○
若松台	366	0.001	0	0.0	0	0.0	0.002	無	0	○

- 注) 1. 「長期的評価による日平均値0.04ppmを超えた日数」とは、日平均値の高い方から2%範囲の日平均値を除外した後の日平均値のうち0.04ppmを超えた日数である。ただし、高い方から2%範囲の中に0.04ppmを超えた日が2日以上連続した場合、この日数は除外せず超えた日数に加える。
2. 「長期的評価による環境基準適否」の適否は、長期的評価による日平均値0.04ppmを超えた日数が0であること。

5. 2 二酸化硫黄の推移

表5-2 二酸化硫黄 年平均値の推移

(単位：ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三宝	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
少林寺	0.006	0.006	0.006	0.003	0.003	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001
石津	0.007	0.007	0.006	0.007	0.005	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002
浜寺	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004	0.002	0.001	0.001	0.001
金岡*	0.005	0.005	(0.006)	—	—	—	—	—	—	—
金岡南*	—	—	(0.004)	0.005	0.005	0.004	0.002	0.001	0.001	0.001
若松台	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.001	0.001	0.001	0.001
平均	0.006	0.006	0.005	0.005	0.004	0.003	0.002	0.001	0.002	0.001

- 注) 1. () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。
2. * 金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

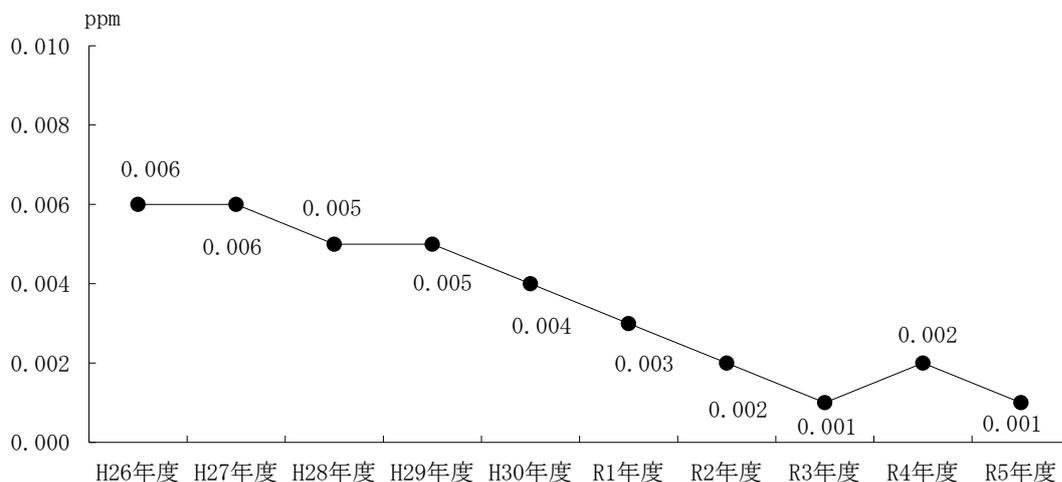


図5-1 二酸化硫黄 年平均値の推移 (市内平均値)

6. 光化学オキシダント

6. 1 光化学オキシダントに係る環境基準との比較

表6-1 令和5年度 光化学オキシダント 測定結果及び環境基準の適否

(令和5年4月～令和6年3月)

測定局	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値						環境基準の適否
			年平均値	0.06ppmを超えた日数と時間数		0.12ppm以上の日数と時間数		最高値	
				ppm	日	時間	日		時間
三宝	366	5456	0.031	52	211	0	0	0.111	×
少林寺	366	5451	0.033	73	329	0	0	0.110	×
石津	366	5446	0.032	69	285	0	0	0.107	×
浜寺	366	5452	0.035	87	407	0	0	0.108	×
金岡南	366	5456	0.034	78	369	1	1	0.123	×
深井	366	5454	0.035	87	397	2	2	0.123	×
登美丘	366	5454	0.034	78	345	3	4	0.133	×
若松台	366	5453	0.036	88	425	0	0	0.119	×
美原	366	5455	0.031	70	294	2	2	0.123	×

注) 1. 昼間とは5時から20時までの時間帯をいう。

2. 「環境基準適否」の適否は、1時間値が0.06ppmを超えた時間数が0であること。

6. 2 光化学オキシダントの推移

表6-2 光化学オキシダント 昼間年平均値の推移

(単位: ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三宝	0.029	0.029	0.030	0.030	0.028	0.030	0.030	0.032	0.031	0.031
少林寺	0.032	0.032	0.031	0.031	0.028	0.032	0.033	0.034	0.034	0.033
石津	0.030	0.032	0.032	0.030	0.030	0.030	0.031	0.033	0.032	0.032
浜寺	0.033	0.034	0.034	0.036	0.032	0.034	0.035	0.037	0.035	0.035
金岡*	0.035	0.036	(0.045)	—	—	—	—	—	—	—
金岡南*	—	—	(0.029)	0.036	0.033	0.034	0.035	0.037	0.035	0.034
深井	0.035	0.035	0.036	0.036	0.034	0.035	0.036	0.037	0.036	0.035
登美丘	0.036	0.038	0.037	0.038	0.034	0.036	0.037	0.038	0.036	0.034
若松台	0.035	0.039	0.039	0.039	0.037	0.037	0.038	0.038	0.037	0.036
美原	0.033	0.033	0.033	0.035	0.032	0.033	0.035	0.031	0.029	0.031
平均	0.033	0.034	0.034	0.034	0.032	0.033	0.034	0.035	0.034	0.033

注) 1. () は年間測定時間が6,000時間未満であり、有効測定局に該当しないことを示す。

2. *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。

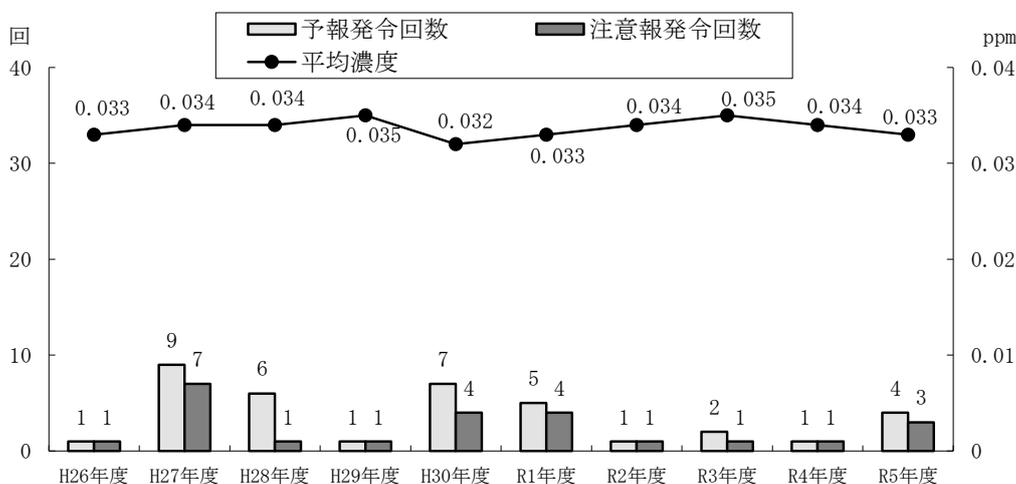


図6-1 光化学オキシダント 昼間年平均値の推移及び予報・注意報発令(堺市及びその周辺地域)回数

7. 非メタン炭化水素

7. 1 光化学オキシダントの生成防止のための指針値との比較

表7-1 令和5年度 非メタン炭化水素 測定結果及び指針値との比較

(令和5年4月～令和6年3月)

測定局	年平均値	6時～9時の 年平均値	6時～9時の 測定日数	6時～9時の3時間平均値					
				最高値	最低値	0.20ppmCを超えた 日数とその割合		0.31ppmCを超えた 日数とその割合	
						ppmC	ppmC	日	%
三 宝	0.09	0.09	366	0.40	0.00	24	6.6	4	1.1
少 林 寺	0.16	0.16	366	0.55	0.02	109	29.8	17	4.6
石 津	0.18	0.19	363	0.73	0.04	140	38.6	40	11.0
浜 寺	0.16	0.17	365	0.87	0.02	118	32.3	30	8.2
金 岡 南	0.17	0.18	345	0.69	0.02	112	32.5	29	8.4

注) 表中の値は、メタン換算値である。

7. 2 非メタン炭化水素の推移

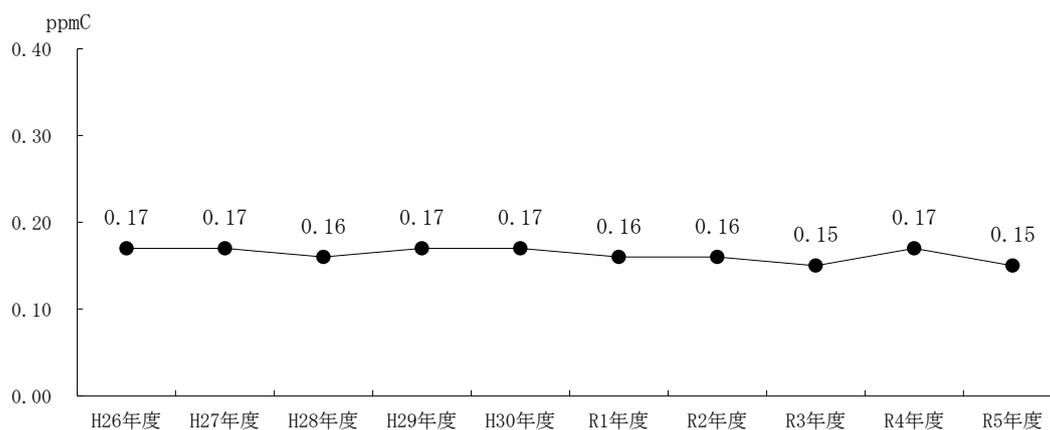
表7-2 非メタン炭化水素 年平均値の推移

(単位：ppmC)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
三 宝	0.16	0.15	0.13	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
少 林 寺	0.18	0.18	0.17	0.17	0.19	0.17	0.17	0.15	0.16	0.16
石 津	0.17	0.17	0.17	0.19	0.19	0.18	0.16	0.16	0.17	0.18
浜 寺	0.17	0.18	0.18	0.18	0.17	0.17	0.23	0.18	0.16	0.16
金 岡 *	0.17	0.19	(0.17)	—	—	—	—	—	—	—
金 岡 南 *	—	—	(0.21)	0.2	0.2	0.18	0.16	0.19	0.27	0.17
平 均	0.17	0.17	0.16	0.17	0.17	0.16	0.16	0.15	0.17	0.15

注) 1. 表中の値は、メタン換算値である。

2. *金岡局の測定については、平成28年8月から金岡南局に移行している。



注) 図中の値は、メタン換算値である。

図7-1 非メタン炭化水素 年平均値の推移 (市内平均値)

8. 一酸化炭素

8. 1 一酸化炭素に係る環境基準との比較

表8-1 令和5年度 一酸化炭素 測定結果及び環境基準の適否

(令和5年4月～令和6年3月)

測定局	有効測定日数	年平均値	日平均の最高値	8時間平均値が20ppmを超えた回数と割合		日平均値が10ppmを超えた日数と割合		日平均の2%除外値	環境基準の適否
	日			ppm	ppm	回	%		
美原丹上	366	0.1	1.0	0	0.0	0	0.0	0.3	○
中環石原	357	0.3	1.3	0	0.0	0	0.0	0.6	○

注) 「環境基準適否」の適合は、日平均値が10ppmを超えた日数が0で、かつ、8時間平均値が20ppmを超えた回数が0であること。

8. 2 一酸化炭素の推移

表8-2 一酸化炭素 年平均値の推移

(単位：ppm)

測定局	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
美原丹上	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
中環石原	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
平均	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2

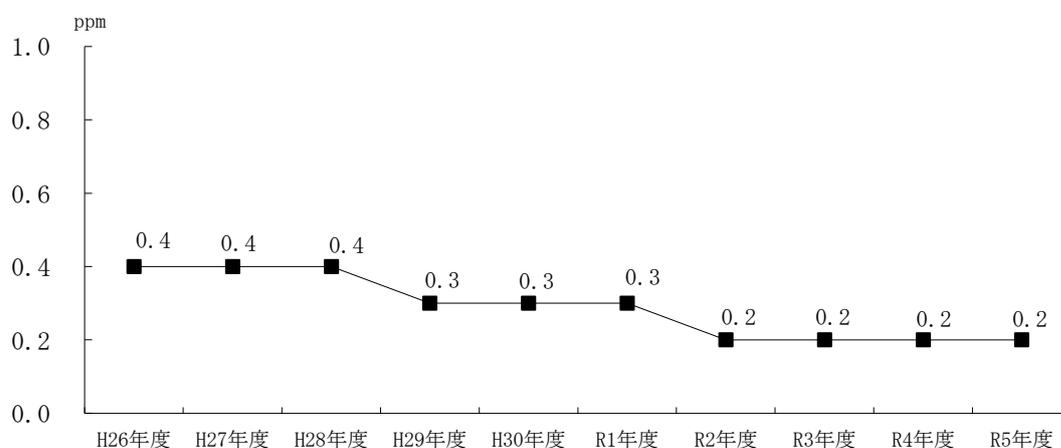


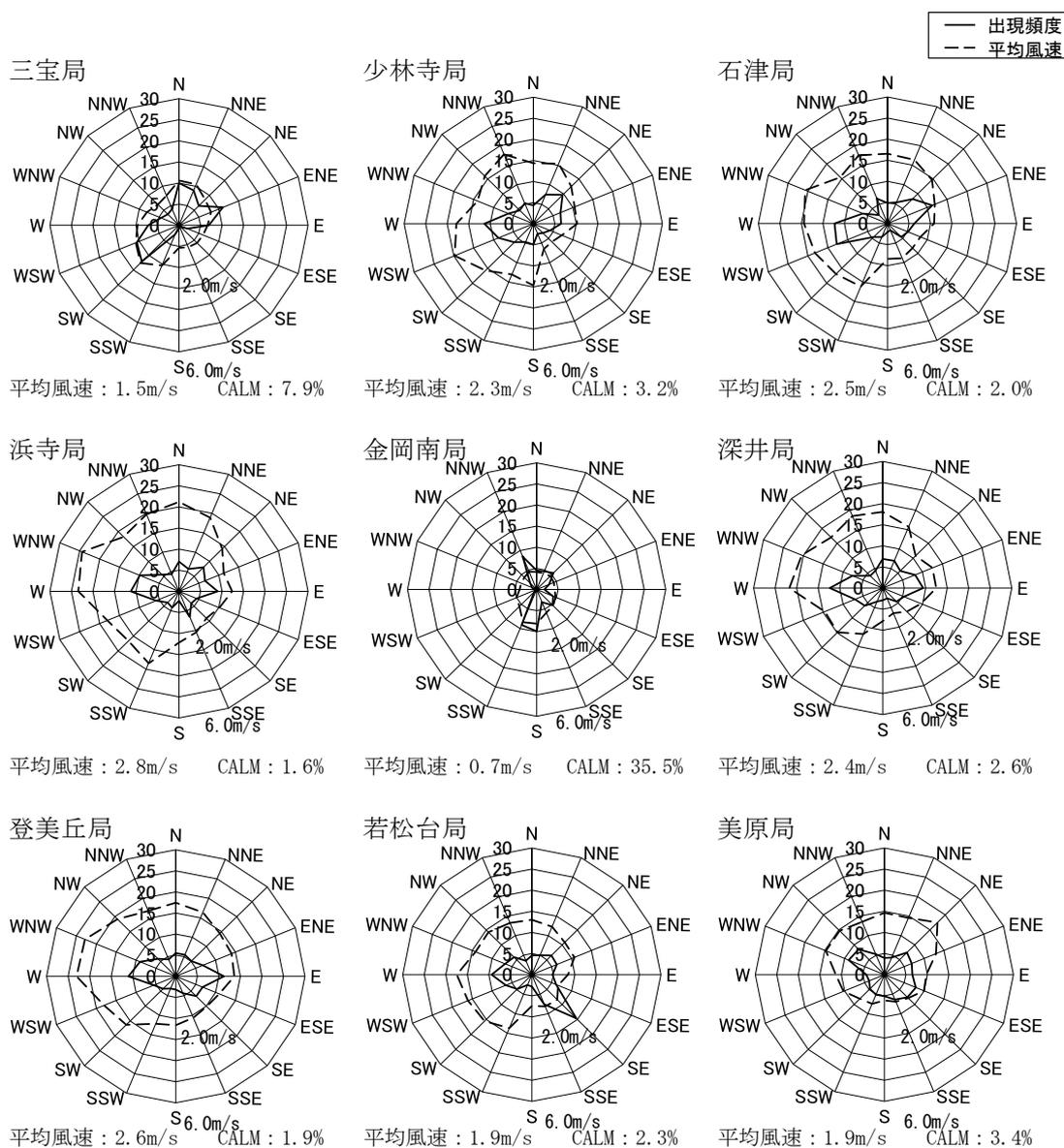
図8-1 一酸化炭素 年平均値の推移 (市内平均値)

9. 風向・風速

9. 1 風向・風速の測定結果

表9-1 令和5年度 風速 年間測定結果

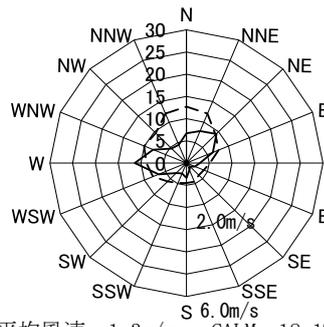
測定局	測定時間	年平均値	風速階級別出現頻度													風向・風速計地上高 m
			CALM 0.4m/s 以下	0.5m/s ↓ 1.0m/s	1.1m/s ↓ 2.0m/s	2.1m/s ↓ 3.0m/s	3.1m/s ↓ 4.0m/s	4.1m/s ↓ 5.0m/s	5.1m/s ↓ 6.0m/s	6.1m/s ↓ 7.0m/s	7.1m/s ↓ 8.0m/s	8.1m/s ↓ 9.0m/s	9.1m/s ↓ 10m/s	10.1m/s ↓ 以上		
			%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%		
一般環境大気測定局	三宝局	8784	1.5	7.9	27.8	42.5	16.8	3.8	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6
	少林寺局	8783	2.3	3.2	16.3	31.6	23.3	14.6	6.8	2.5	1.2	0.3	0.1	0.0	18	
	石津局	8783	2.5	2.0	11.7	31.9	23.4	16.4	8.6	3.7	1.6	0.4	0.1	0.0	18	
	浜寺局	8781	2.8	1.6	10.3	30.6	21.8	13.8	10.4	5.9	3.1	1.4	0.6	0.3	18	
	金岡南局	8784	0.7	35.5	47.1	14.1	2.2	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6	
	深井局	8783	2.4	2.6	15.7	32.7	20.9	12.8	8.0	4.2	1.8	0.9	0.3	0.1	19	
	登美丘局	8784	2.6	1.9	10.6	32.0	23.1	14.7	8.6	5.0	2.2	1.2	0.5	0.1	18	
	若松台局	8783	1.9	2.3	21.5	42.3	17.8	8.9	4.4	1.7	0.7	0.2	0.1	0.0	18	
	美原局	8784	1.9	3.4	23.9	39.1	18.7	8.9	3.8	1.5	0.4	0.1	0.1	0.0	10	
自動車排気測定局	阪和深井畑山	8784	1.3	18.1	32.4	32.4	11.7	4.1	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8	
	美原丹上	8784	1.1	16.2	43.9	26.5	10.1	2.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	10		
	中環石原	8784	1.6	6.3	29.8	35.9	18.8	6.8	2.1	0.3	0.0	0.0	0.0	6		



注) 「CALM」は、風速0.4m/s以下の静穏時を表す。

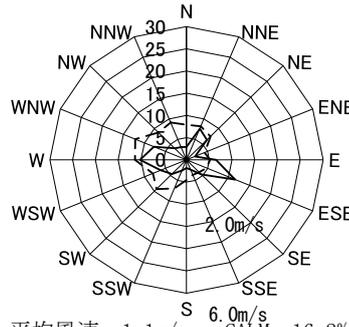
図9-1 令和5年度 年間風配図 (一般環境大気測定局)

阪和深井畑山局



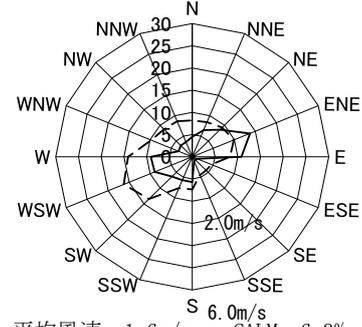
平均風速：1.3m/s CALM：18.1%

美原丹上局



平均風速：1.1m/s CALM：16.2%

中環石原局



平均風速：1.6m/s CALM：6.3%

注) 「CALM」は、風速0.4m/s以下の静穏時を表す。

図9-2 令和5年度年間風配図(自動車排出ガス測定局)

10. 日射量・放射収支量

10.1 日射量・放射収支量の測定結果

表10-1 令和5年度日射量・放射収支量年間測定結果

項目	測定局	測定時間	日合計値の 年平均値	日合計値の 最高値	日合計値の 最低値	1時間値の 年平均値	1時間値の 最高値	1時間値の 最低値
		時間	MJ/m ²					
日射量	少林寺	8782	14.3	30.0	1.1	0.6	3.8	0.0
放射収支量	大仙公園	8772	8.3	20.2	-1.1	0.3	2.9	-0.4

11. 阪神高速道路大和川線周辺の測定結果

表11-1 令和5年度測定結果(遠里小野測定室)

項目	測定結果	
二酸化窒素	有効測定日数	366日
	年平均値	0.013ppm
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	0日
	日平均値が0.06ppmを超えた日数	0日
	日平均値の年間98%値	0.027ppm
浮遊粒子状物質	有効測定日数	364日
	年平均値	0.015mg/m ³
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数	0時間
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数	0日
	日平均値の2%除外値	0.033mg/m ³

注) 本測定室は、阪神高速道路大和川線の周辺環境を調査するために設置されたものであり、令和3年12月から測定を開始



図11-1 測定位置図